

## 第59回交流フロア運営会議（議事概要）

### 1 日時・場所

平成28年10月5日（水）18：30～20：00

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

### 2 参加者数 14人

### 3 会議内容

#### (1) 宮本輝の青春時代を体験する「青が散るツアー」の実施報告

##### 内 容

- ・9月24日（土）「青が散るツアー」を開催。参加者23名。
- ・当初の目標だった「若い人にも参加してほしい」「読書意欲が湧いてくるような内容にした  
い」は達成できたと思う。

#### (2) 「話題の本で話そう」（らしーく）

##### 内 容

- ・2～3月で開催を計画中。題材はまだ決まっていない。

##### 意 見

- ・「ペコロスの母に会いに行く」はどうか。映画で主演した岩松了さんにも来てもらえれば。

#### (3) ライブラリー・オブ・ザ・イヤー最終選考のプレゼンについて

##### 内 容

- ・最終選考のプレゼン（約7分）に盛り込む材料を検討したい。

ことば蔵のいいところ、ことば蔵にハマった理由、運営会議のいいところなど。

## 意見

- ・ふだんから本を借りに図書館へ来ていて、月間イベント案内を見ると市民企画のイベントがたくさんあり、「私でも何かできるかも」と思ったのが、運営会議に参加したきっかけ。
- ・ウォッチャーの存在がいい。イベントについて、愛情をもってダメ出しもする。
- ・運営会議は、企画を持っていなくても聞いているだけで楽しい。
- ・イベントは何でもOKではなく、「ことば」や本に関連付けて、ことば蔵でやる意味のあるものを作り上げている。
- ・図書館と公民館が合わさったような機関だが、公民館より間口が広い。  
1フロアすべて学習室、というのも羨ましい。
- ・1人では実現できないことをみんなでサポートして、よりいいものを作っていく。
- ・運営会議では、大喜利のような連鎖的発展がある。
- ・運営会議は、開館当初より意見を言いやすい場になっていると感じる。
- ・運営会議やイベントで出会った人と一緒に、新しい企画ができる。
- ・交流イベントは、2～90歳までいろんな世代が楽しめる。
- ・市外からの参加者も多い。新聞にもよく載る。
- ・ランナーズクラブ、本立てワークショップなど、他の図書館では絶対やらないようなこともやっている。
- ・「伊丹公論」は地域の伝統や歴史が学べるので、もっと自慢していいと思う。

## 4 次回の運営会議

平成28年11月2日(水) 18:30～ 伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

※ベイコム「伊丹だより」の取材あり